

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	文化会館	係	事務事業No.	121132			
事務事業名	市民舞台芸術創作事業					会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					款	2	項	1	目	13
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
施策項目	芸術文化の振興										
前期計画掲載頁	45	頁	個別計画	大町市第7期社会教育計画、第4次大町市生涯学習推進プラン					35	頁	
事業期間	平成	29	年	～	平成	30	年	根拠法令・要綱等			

事業の目的	従前の「冬期芸術大学」を見直し、舞台創作を担う人材育成の場として「企画プロデュースコース夏期講座」、「企画プロデュースコース冬期講座」を開講。 冬期講座では「羽毛田武史コンサート」において企画運営の実務を体験した。								
事業内容	夏期講座 受講生 9名 3回の講座を開設 ①基礎講座 ②企画構想\$企画会議 ③企画プランプレゼン 冬期講座 受講生 5名 羽毛田武史コンサート実施に係る企画と運営の実践 全8回								
事業費	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率		次年度(R円)	
	総事業費(決算額)		4,308,236 円	1,329,611 円	1,429,158 円	%		目標値	
	財源内訳	国庫支出金		2,620,000 円	円	円	%		目標値
		県支出金		円	円	円	%		目標値
		起債		円	円	円	%		目標値
		その他財源		円	円	円	%		目標値
一般財源		1,688,236 円	1,329,611 円	1,429,158 円	%		目標値		
活動指標	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度(H30)	達成率	次年度(R円)
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	受講者数	人	28	23	14	10	140.0%	5
	②	WS開催回数	回	35	25	11	10	110.0%	6
③	WSコース数	数	4	3	2	1	200.0%	1	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度(H30)	達成率	次年度(R円)	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	成果発表会観客	人	133	80	361			500
	②	成果発表会開催数	回	2	1	1			1
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標) 受講生の企画による舞台発表の場を提供していく。						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	改善の余地あり			
	点数	2	2	2	3	2	2	継続	13	18

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について(目的に対する現状など)	平成24年度からの地域文化コーディネーター派遣事業から派生し、地域芸術文化を担う新たな人材発掘の場として、ワークショップの開催を通じて舞台創作の技術や課程を学ぶ場として「冬期芸術大学」をH29まで実施して来た。しかし市民への浸透が十分でなく、参加者の固定化や減少は進んだためH29に事業の見直しを行い、企画プロデュースコースを独立させた。 H30からは企画プロコースに特化して「羽毛田武史コンサート」を企画運営を実践した。観客数は少ないものの良質なコンサートが実施できた。
改善の方法等(上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容)	H30に引き続き、企画プロコースに特化して「羽毛田武史コンサート」を企画運営する。市民本位の良質なコンサートを実施していきたい。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	女性未来館 係	事務事業No.	15124		
事務事業名	女性未来館ピュア運営事業			会計	一般会計		
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	5	項	1 目 2
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供						
施策項目	多様な分野の学習活動の充実と促進						
前期計画登載頁	42	頁	個別計画				頁
事業期間	平成		年	～	平成		年
	根拠法令・要綱等						

事業の目的	新規就業者、中途採用者希望者を含む女性労働者及び勤労家庭の女性を対象に円滑な就業の促進や資質の向上を図るための援助を行うとともに、女性問題に関する啓発活動を通じて問題意識の喚起や女性の意識向上を積極的に推進する。							
事業内容	女性のための各種講座や講演会及びサークルなどが円滑に活動できる管理体制を図る。託児ボランティア活動の人材育成講座、講演会の実施。							
事業費	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	総事業費（決算額）	4,075,649 円	4,084,181 円	4,179,239 円				
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円			
		県支出金	円	円	円			
		起債	円	円	円			
		その他財源	円	円	円			
一般財源		4,075,649 円	4,084,181 円	4,179,239 円				
活動指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R1）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	
	① 女性未来館ピュア講座	回	18	16	16	15	106.7%	
	② サークル育成事業	件	8	8	8	8	100.0%	
	③							
成果指標	1. 数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R1）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	
	① ピュア講座（公民館共催含）参加者数	延人数	956	960	950	950	100.0%	
	② 公民館・ピュア利用者数	団体	74	79	81	77	105.2%	
	③							
2. 数値で表せない効果 （指標 ）子育て世代の講座参加を促すため託児を実施するとともに、教養の幅を広げ、シニア世代の健康増進、生きがいの場の提供。								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	普通	一部重複	高い	適正である			
	点数	3	3	2	2	3	3	継続	16	18

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	健康講座への関心の高さから引き続き健康講座を実施、また運動講座の種類（ヨガ、バランスボール、体操等）を増やした講座に取り組みたい。
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	講座を通して自身で出来るような講座を増やし、サークルに繋げていきたい。また、シニアから若い年齢層の幅広い講座、女性が輝ける講座に取り組みたい。運動具の充実を図り、適した講師による指導の幅を広げたい。

事務事業評価票

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	八坂公民館	係	事務事業No.	110128		
事務事業名	山村留学支援事業				会計	一般会計		
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				款	10 項 1 目 2		
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成							
施策項目	地域で育む教育の推進							
前期計画掲載頁	39	頁	個別計画			頁		
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等

事業の目的	山村留学生を積極的に受け入れて交流することにより、地元の小中学生、留学生双方の健全育成を助長する。また、複式学級の回避の他、各方面の教育効果の高揚を図るとともに、保護者を含め都市住民との人的交流により、友人関係を構築し地域活性化に寄与する。								
事業内容	山村留学実施主体の公益財団法人育てる会と受入農家を支援する山村留学推進協議会へ補助を行っている。								
事業費	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	総事業費（決算額）		18,305,300 円	20,050,000 円	20,050,000 円				
	財源内訳	国庫支出金		円	円	円			
		県支出金		円	円	円			
		起債		12,600,000 円	14,000,000 円	14,000,000 円			
		その他財源		円	円	円			
一般財源		5,705,300 円	6,050,000 円	6,050,000 円					
活動指標	指標名		単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値
	①	受入農家数	戸	9	10	10	11	90.9%	10
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	山村留学児童生徒数	人	31	32	32	32	100.0%	32
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果		<p>（指標）山村留学生と地元の児童生徒は、お互いを尊重し合い、切磋琢磨し学習に取り組んでいる。また、山村留学OBとの交流を通じ、棚田での米づくりを行う等、都市との交流を積極的に行い農地の保全にも寄与している。</p>							

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	3	3	2	3		18		

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	<p>山村留学生を受け入れている農家の高齢化により継続が困難な世帯が出ており、新規の受入農家の選定が急務である。しかし、時代の変遷から兼業化が進むとともに生活スタイルが変化し、地区内の農家で新たな受入れに理解が得られない状況が続いている。</p>
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	<p>新規の受入農家を開拓するため、地区説明会を随時開催する。また、説明会には現役受入農家の方にも出席いただき、疑問点や不安な点が少しでも解消できる雰囲気づくりに努める。</p> <p>受け入れを行う世帯は農家（専業・兼業）が望ましいが、受入農家不足の状況を考慮し、非農家世帯の受入や地区外の農家参入が可能か（公財）育てる会と検討を進める。また、受入農家の負担軽減も検討する。</p>

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110414
事務事業名	エネルギー博物館運営費助成事業			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10 項 4 目 1
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供				
施策項目	自由に学び成果を生かせる学習環境の整備と連携体制の構築				
前期計画掲載頁	41 頁	個別計画	大町市第7期社会教育計画、第4次大町市生涯学習推進プラン		50 頁
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の目的	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供を図るため、エネルギーを中心とした理論・技術等に関し多面的な考察により、様々な事業展開をしているエネルギー博物館の運営に対し補助金を交付。								
事業内容	エネルギー博物館の運営費の助成として、経常経費分と修繕工事等臨時的費用分の合計を補助								
事業費	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	総事業費（決算額）		12,460,000 円	12,543,000 円	13,013,000 円				
	財源内訳	国庫支出金		円	円	円			
		県支出金		円	円	円			
		起債		円	円	円			
		その他財源		円	円	円			
一般財源		12,460,000 円	12,543,000 円	13,013,000 円					
活動指標	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	開館日数	日	205	190	189	200	94.5%	200
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	入館者数	人	8,494	10,505	8,122	10,000	81.2%	10,000
	②	入館料	円	2,254,120	2,606,470	2,222,500	2,700,000	82.3%	2,700,000
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	改善の余地あり			
点数	2	2	2	3	2	2	やり方改善	13	18	

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>社会教育施設としての位置づけとしているが、運営母体が公益財団法人であり経常経費の約6.5割を補助金で賄う状況である。今後の運営、また、施設そのもののあり方について根本的に検討する時期に来ている。</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<p>公益財団法人であるため理事会で判断することである。しかしながら、理事長は市長、常務理事は教育長でもある。引き続き、補助金を交付している市として、積極的な関与を行っていく。</p>	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110415
事務事業名	公民館分館整備助成事業			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10 項 4 目 1
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供				
施策項目	社会教育の充実と活性化				
前期計画掲載頁	41 頁	個別計画	大田市第7期社会教育計画、第4次大田市生涯学習推進プラン		50 頁
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の目的	地域住民の生涯学習活動や地域活動の拠点となる公民館分館及び地域集会施設の改築、改修に対して補助金を交付し、施設整備を図る。							
事業内容	施設改修・改築・下水道接続などの費用に対し、事業費の1/3を補助する（上限あり）							
事業費	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	総事業費（決算額）	914,000 円	1,626,000 円	828,000 円				
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円			
		県支出金	円	円	円			
		起債	円	円	円			
		その他財源	円	円	円			
一般財源		914,000 円	1,626,000 円	828,000 円				
活動指標	指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値
	①	改修施設件数	件	2	1	1	100.0%	1
	②							
	③							
成果指標	1. 数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①							
	②							
	③							
	2. 数値で表せない効果 （指標）	自治会や地区の活動拠点となる公民館・集会所が整備されることにより地域の活動の継続、発展が見込まれる。						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	3	3	2	3	継続	17 / 18		

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	地域のコミュニティ施設である公民館や集会所の施設整備は、耐震改修、下水道接続などの要望が見込まれることから、今後も継続していくことが必要である。今後も補助金の活用を促進するため制度の周知を図っていく。
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	毎年、10月号広報で制度の周知を行っている。引き続き、制度の周知を行っていく。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110416				
事務事業名	生涯学習推進事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10	項	4	目	1
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供								
施策項目	自由に学び成果を生かせる学習環境の整備と連携体制の構築								
前期計画掲載頁	41	頁	個別計画	大町市第7期社会教育計画、第4次大町市生涯学習推進プラン				1	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の目的
一人ひとりが自ら生きがいを持ち心豊かな人生を歩むため、その生涯にわたってあらゆる機会、あらゆる場所において学習することができる環境の整備と共に、その主体的な学びの成果を地域に生かし、還元できる生涯学習社会の実現を図る。

事業内容
生涯学習に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための大町市生涯学習推進本部を設置し、リーダーバンク、職員出張講座、学校開放講座を実施。また、「がったつうしん」を年4回発行し親子で学べるイベントの提供を実施するとともに、郷土愛を育むため、郷土学習冊子「きのう・きょう・あした」を市内小学4年生へ配布。

事業費	財源内訳	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		総事業費（決算額）	444,174 円	807,326 円	24,789 円
		国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	円	円	円
	一般財源	444,174 円	807,326 円	24,789 円	

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	がったつうしん	回	4	4	4	4	100.0%	4
	②	リーダーバンク登録者	人	65	65	63	70	90.0%	70
③	リーダーバンク登録団体	団体	20	24	18	25	72.0%	25	

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①							
	②							
	③							
	2. 数値で表せない効果	(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である			
	点数	2	2	2	3	2	3			

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

現在、生涯学習という概念は、個人の生きがいや教養・趣味・レクリエーション活動等に関する主体的な学習だけでなく、急激な社会変化に対応するため、市民一人ひとりが地域と関わり、地域課題、生活課題の解決に向けて一体となった「学びの絆」や、その学びの成果を地域に還元する「学びの循環」としての要素が重要となってきている。その一方、インターネットの普及により、ネットを介した学びや個の趣味づくりが多くなってきており、地元サークル活動への参加や新規サークルを立ち上げるなど、仲間づくりを行うことが少なくなってきている。

改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）

人と人との繋がりの中で、同じ趣味や共通した課題を互いに共有することの重要性や、「学びの絆」「学びの循環」の大切さについて、粘り強く啓発を続けていくほか、リーダーバンクや職員出張講座の活用について、一層のPR活動を実施していく。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	人権教育 係	事務事業No.	110417				
事務事業名	人権教育推進事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第5 市民の参画と協働でつくるまち			款	10	項	4	目	1
施策目標	多様性に満ちた共生社会の実現								
施策項目	人権教育・啓発の推進								
前期計画登載頁	95	頁	個別計画	大田市人権教育及び人権啓発に関する基本方針				頁	
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の目的	人権教育を通じて市民一人ひとりが人権問題を自分自身の問題としてとらえ、学校、地域、職場、企業が一体となった人権教育に総合的に取り組むことが出来るよう、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にしたい人権教育の推進を図る。								
事業内容	人権教育推進協議会・企業人権教育推進協議会の研修、学校人権教育研究委員会による各学校での活動、市内6地区での人権を考える市民の集いの開催や人権教育指定校の公開授業（2校）の開催、人権作品集「ヒューマンライツ」の作成及び作品集を使った啓発事業、市内小中高の実践記録の作成等行っている。								
事業費	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率			
	総事業費（決算額）		3,954,363 円	4,103,404 円	3,910,094 円	次年度（R元）			
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円	達成率（％）			
		県支出金	円	円	円	目標値			
		起債	円	円	円	（％）			
		その他財源	円	円	円	目標値			
一般財源		3,954,363 円	4,103,404 円	3,910,094 円	達成率（％）				
活動指標	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（％）	目標値
	①	人権を考える市民の集い	回数	6	6	6	6	100.0%	6
	②	企業人権教育推進協議会	回数	1	1	1	1	100.0%	1
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（％）	目標値
	①	人権を考える市民の集い	人	1,831	1,777	1,528	1,750	87.3%	1,750
	②	企業人権教育研修会参加	人	87	84	81	80	101.3%	80
	③	人権教育指定校公開授業	人	95	94	85	100	85.0%	100
	2. 数値で表せない効果		（指標） 人権教育の推進により、市民ひとりひとりが、他の人を思いやる気持ちや互いを尊重しあう心を醸成し、地域のつながりや協力を円滑に築く要因となることで、協働のまちづくりの推進に寄与している。						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	一部重複	普通	適正である			
点数	3	2	3	2	2	3		18		

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	<p>同和問題をはじめ、女性、子ども、障がい者、外国人などの問題のほか、近年はインターネット等を悪用した人権侵害や、子供・高齢者に対する虐待など新たな人権侵害問題が顕在化してきている。真に人権が尊重される地域づくりを目指して人権感覚を磨き、人権問題を自身の問題と受け止め自らの行動に結びつけていける学習活動を継続していく必要がある。</p>
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	<p>学校人権教育研究委員会については、各校での年間通した実践を基盤とし、市内の小中学校以外に、高校、保育園、幼稚園からも参加協力が得られている。未就学児童から高校生までの人権教育について研究の機会、情報交換、連携ができていく。公開授業については、学校教育への理解を含め、一般参加者をさらに募っていく。様々な機会を使い啓発事業を推進しているが、意識の改革を目的としているので、継続した取り組みが必要である。併せて、企業における職場内研修にも期待したい。</p>

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110421
事務事業名	補導・環境浄化活動事業			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10 項 4 目 2
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成				
施策項目	地域で育む教育の推進				
前期計画掲載頁	38 頁	個別計画	大町市第7期社会教育計画、第4次大町市生涯学習推進プラン		15 頁
事業期間	平成 年 ~ 平成 年	根拠法令・要綱等			

事業の目的
 「青少年は地域社会から育む」という観点に立ち、地域で子ども達を育む教育を推進するため、青少年センターの補導委員と共に補導活動をおし青少年の健全育成を図る。

事業内容
 青少年センターが委嘱した補導委員と共に、青少年が非行化することのないように街頭活動や、青少年を取り巻く有害環境の浄化活動を行うとともに啓発活動を実施。

事業費	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	総事業費（決算額）	2,848,270 円	2,843,656 円	2,831,465 円	
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	円	円	円
一般財源	2,848,270 円	2,843,656 円	2,831,465 円		

活動指標	指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値	
	①	街頭補導活動	回	60	56	56	56	100.0%	56
	②								
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①							
	②							
	③							
2. 数値で表せない効果 （指標） 補導員の街頭補導活動により、青少年の有害な環境改善、非行防止に効果が出ている。								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
	点数	3	3	3	3	2	3			

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

高齢化や自治会人口減少により補導員の選出が困難な地域が出ている。また、選出されても1年で交代になることが多く、補導活動が定着しがたい。補導員・教職員・PTAによる合同補導においても意思統一が難しい状況である。地域が一体となり子ども達を取り巻く諸問題に対して、いかにサポートしていき意識向上させ体制を作り上げていくことが課題。

改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）

選出方法や活動内容等の見直しについて検討する必要があるが、将来を担う青少年を地域で見守ることの大切さを理解していただくとともに、地域全体で青少年の健全育成に取り組む啓発活動、体制づくりを粘り強く続けていく。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110422
事務事業名	青少年育成事業			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10 項 4 目 2
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成				
施策項目	地域で育む教育の推進				
前期計画掲載頁	38 頁	個別計画	大町市第7期社会教育計画、第4次大町市生涯学習推進プラン		14 頁
事業期間	平成 年 ~ 平成 年	根拠法令・要綱等			

事業の目的
 地域で育む教育の推進を図るため、子ども会育成会や青少年市民会議をとおり、地域全体による青少年の育成を図る。

事業内容
 子ども会育成会の活動支援として、低廉な利用料でバスを使用できる「子ども体験学習号」の運行や、毎年8月に市民全体で子どもたちの健全育成に取り組む「青少年育成市民大会」などを開催し、地域全体で子どもを育む機運の醸成を図る。

事業費	財源内訳	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		総事業費（決算額）	3,058,672 円	2,617,828 円	2,772,473 円
		国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	円	円	円
	一般財源	3,058,672 円	2,617,828 円	2,772,473 円	

活動指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	青少年育成市民大会	回	1	1	1	100.0%	1
	②							

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	子ども体験学習号利用数	件	14	12	11	12	91.7%	12
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通	適正である			
点数	3	3	3	2	2	3				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

少子化により各地区の子ども会等の活動が低調になりつつある。そこをいかにサポートしていき、地域で子ども達を支える意識や体制を作り上げることが課題。

改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）

地域全体で子ども達を見守る連帯感の醸成を図るため、青少年市民大会において再確認するとともに、現在の子ども達が抱える問題や課題を分科会において学び、意見交換し問題を共有する中で子ども達の健やかな成長を願う意識を地域全体で持ち続けるため、粘り強く啓発活動を継続していく。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	大町公民館	係	事務事業No.	110433
事務事業名	大町公民館活動費				会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				款	10 項 4 目 3
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供					
施策項目	社会教育の充実と活性化					
前期計画掲載頁	41 頁	個別計画	大町市第7期社会教育計画、第4次大町市生涯学習推進プラン			10 頁
事業期間	平成 年 ~ 平成 30 年	根拠法令・要綱等 社会教育法				

事業の目的	公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点としての機能を発揮する								
事業内容	公民館分館事業助成、分館講座の開設支援、市文化祭の開催、囲碁将棋の普及、講座の開設								
事業費	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	総事業費（決算額）		2,312,057 円	2,657,441 円	2,307,441 円				
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円				
		県支出金	円	円	円				
		起債	円	円	円				
		その他財源	円	円	円				
一般財源		2,312,057 円	2,657,441 円	2,307,441 円					
活動指標	指標名		単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値
	①	公民館講座	回	72	73	87	80	108.8%	80
	②	体育事業	回	4	3	3	3	100.0%	3
	③	文化事業	回	3	4	3	3	100.0%	3
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	公民館講座開設	人	1,057	1,451	2,260	1,500	150.7%	1,800
	②	体育事業	人	924	777	708	900	78.7%	800
	③	文化事業	人	12,369	12,175	12,271	12,000	102.3%	12,000
	2. 数値で表せない効果		(指標①) 平成30年度は、新たな講座として「歴史・哲学講座」・「陶芸講座」を開設した。「歴史・哲学講座」については全6回で延べ500名弱の参加があり、市民の学習欲求を満たすことができた。						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	2	3	2	3				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	<p>市民運動会の参加分館が減少。平成29年度にアンケート実施し、結果を参考に競技種目や参加資格等の見直しを行ったが、歯止めが効かなかった。地域コミュニティーの衰退が大きな課題と思われるが、どうすれば多くの分館・住民に参加してもらえるか引き続き検討が必要。</p>
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	<p>大町地区市民運動会については、分館対抗という枠の撤廃等、他地区の運動会を参考に見直しが必要。地域コミュニティーの維持・健康づくり等の観点から地区運動会は必要な事業であるため、今後も継続できるよう検討を進める。</p>

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	平公民館	係	事務事業No.	110435				
事務事業名	平公民館活動費				会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				款	10	項	4	目	3
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供									
施策項目	多様な分野の学習活動の充実と促進									
前期計画掲載頁	41		頁	個別計画	大町市第7期社会教育計画、第4次大町市生涯学習推進プラン				41	頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等 社会教育法		

事業の目的	公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す。								
事業内容	地域住民参加による運動会・市民スポーツ祭等の体育事業を実施。住民の関心・要望や地域課題に取り組む講座を開設。住民の自主的学習活動を支援するためにサークル体験を実施。自治会・育成会・社会福祉等の地域活動の支援およびこれらとの共催により事業を実施。								
事業費	年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	総事業費（決算額）		913,563 円		1,083,605 円		1,078,991 円		
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円	
		県支出金		円		円		円	
		起債		円		円		円	
		その他財源		円		円		円	
一般財源		913,563 円		1,083,605 円		1,078,991 円			
活動指標	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	公民館体育事業	回	6	6	6	6	100.0%	6
	②	公民館講座	コース	6	8	9	9	100.0%	9
③	自主学習活動支援	件	3	3	5	5	100.0%	5	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	体育事業参加者	人	839	834	1,086	900	120.7%	1,100
	②	公民館講座受講者	人	155	230	300	230	130.4%	300
	③	自主学習活動サークル	団体	74	79	81	80	101.3%	80
	2. 数値で表せない効果		(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	普通	一部重複	高い	適正である			
点数	3	3	2	2	3	3		18		

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<ul style="list-style-type: none"> 公民館事業では、地元自治会の協力が必要不可欠であるが、高齢化や自治会離れがあり、分館ごとの事業が難しくなっている。 公民館講座の参加について、若い世代の参加が少ないため検討が必要 	
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<ul style="list-style-type: none"> 公民館事業については、分館への補助金を利用し、合同事業等を実施するよう勧める。 公民館講座については、若い世代が参加できるような内容・時間帯・曜日（例：土曜日、日曜日）で計画を検討する。 	

事務事業評価票

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	常盤公民館	係	事務事業No.	110437			
事務事業名	常盤公民館活動費					会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					款	10	項	4	目	3
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供										
施策項目	社会教育の充実と活性化										
前期計画掲載頁	41		頁	個別計画		大田市第7期社会教育計画、第4次大田市生涯学習推進プラン					頁
事業期間	平成	29	年	～	平成	33	年	根拠法令・要綱等 社会教育法			

事業の目的	地域住民にとって最も身近な学習拠点であり、交流の場である公民館の役割を果たすため、住民のニーズに応じた各種講座を開催するとともに、体育事業及び文化事業を通じて地域のコミュニティ力の醸成を図る。また、補助事業等を通じて各分館における体育事業、文化事業及び講座開催の推進を図る。											
事業内容	①講座（親子教室「ともだち広場」、鍬の峰登山、わら細工講座ほか）、②体育事業（常盤地区球技大会、常盤地区運動会、卓球・ソフトバレー大会）、③文化事業（常盤囲碁・将棋・マージャン大会、サークル活動発表展示会）、④補助事業（分館事業補助金）											
事業費	年度		平成28年度			平成29年度			平成30年度			
	総事業費（決算額）		926,205 円			922,658 円			948,995 円			
	財源内訳	国庫支出金		円			円			円		
		県支出金		円			円			円		
		起債		円			円			円		
		その他財源		円			円			円		
一般財源		926,205 円			922,658 円			948,995 円				
活動指標	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）			
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値			
	①	体育事業	回	2	3	3	3	100.0%	3			
	②	文化事業	回	2	2	2	2	100.0%	2			
③	講座事業	回	33	39	44	45	97.8%	45				
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）				
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値			
	①	体育事業参加者	人	348	1,043	1,056	1,000	105.6%	1,000			
	②	文化事業参加者	人	360	357	388	360	107.8%	380			
	③	講座事業参加者	人	978	782	560	800	70.0%	800			
	2. 数値で表せない効果		(指標)									

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	2	3	2	3				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	麻雀囲碁将棋大会について囲碁の参加者がいない状況だった。少子化、余暇の過ごし方や趣味の多様化等により囲碁将棋を指す人が減っているため、講座を行い初心者でも参加できる大会にしたい。サークルが減少してきているので、新しい講座の実施が必要となっているが、講師の情報や指導料の関係で実施できていないので、ほかの公民館等から情報を集めて対応したい。親子教室は年々少子化により参加者が減っている。運動会には小学生から高校生までが参加する種目があるが、少子化が進んでいるとともに最近の小中高生は習い事や部活動等で忙しいため、各分館における参加者集めが難しくなっている。また地域によっては選手選考が大変なので、やめたいという声もある。
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	囲碁将棋大会については、楽しみにしている人も少数ながらいるので、参加人数を増やすためにも講座を行いたい。講座については、公民館利用者に要望を聞いて新しい講座を開講したい。運動会について、31年度以降は反省会を開催し、改善点を整理することとする。各種目の年齢構成や参加人数等を見直すことにより、事業を継続していけるように工夫をしたい。

事務事業評価票

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	社公民館	係	事務事業No.	110439			
事務事業名	社公民館活動費					会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					款	10	項	4	目	3
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供										
施策項目	生涯各期における学習活動の充実										
前期計画掲載頁	10	頁	個別計画	大田市第7期社会教育計画、第4次大田市生涯学習推進プラン							頁
事業期間	平成	29	年	～	平成	33	年	根拠法令・要綱等 社会教育法			

事業の目的	地域住民にとって最も身近な学習拠点であり、交流の場である公民館の役割を果たすため、住民のニーズに応じた各種講座を開催するとともに、体育事業及び文化事業を通じて地域のコミュニティ力の醸成を図る。また、補助事業等を通じて各分館における体育事業、文化事業及び講座開催の推進を図る。									
事業内容	①講座（親子教室「なかよし広場」、花咲く書道講座ほか）、②体育事業（社地区球技大会、社地区子ども球技大会、社地区運動会、元旦マラソン）、③文化事業（社地区文化祭）、④補助事業（分館事業補助金）									
事業費	年度		平成28年度			平成29年度			平成30年度	
	総事業費（決算額）		681,982 円			787,283 円			799,325 円	
	財源内訳	国庫支出金	円			円			円	
		県支出金	円			円			円	
		起債	円			円			円	
		その他財源	円			円			円	
一般財源		681,982 円			787,283 円			799,325 円		
活動指標	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業	回	4	4	4	4	100.0%	4	
	②	文化事業	回	1	1	1	1	100.0%	1	
③	講座事業	回	27	38	37	34	108.8%	34		
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）		
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業参加者	人	630	606	630	622	101.3%	622	
	②	文化事業参加者	人	273	241	333	282	118.1%	282	
	③	講座事業参加者	延べ人数	629	833	513	658	78.0%	658	
	2. 数値で表せない効果 (指標)									

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である			
点数	3	3	2	3	3	3				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）										
①講座等の学習的な取り組みとしては、社会環境の変化に合わせた関心を持って頂けるような活動内容に加え、現在の情報化社会に合わせた活動内容への取り組みと改善が必要と考える。受講後に受講者のサークル活動に繋がっていない講座が多かった。										
②体育事業の運動会や元旦マラソン大会は、少子高齢化に伴う人口減少、ライフスタイルの多様化により参加者は減少傾向にある。										
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）										
①公民館の利用促進を図る為、サークル活動化を推進する。受講者のニーズを的確にとらえるための情報収集を心掛ける。										
②球技大会は、単独では参加出来ない分館同士で合同チームとして参加を要請中。運動会や元旦マラソンなどの体育事業は、地域の枠を超えての参加者が定着してきており、毎年参加を楽しみにしている方々も増えている。更なる発展に向けて、イベント周知の広報活動を充実させていきたい。										

事務事業評価票

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	八坂公民館	係	事務事業No.	1104311	
事務事業名	八坂公民館活動費				会計	一般会計	
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				款	10 項 4 目 3	
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供						
施策項目	社会教育の充実と活性化						
前期計画掲載頁	41	頁	個別計画	大町市第7期社会教育計画、第4次大町市生涯学習推進プラン			頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 社会教育法	

事業の目的
 地域社会のニーズに対応した質の高い公民館事業を推進し、自主グループや地域コミュニティー等の活動の育成と支援を行う。

事業内容
 八坂地区合同運動会やレクレーションスポーツ大会等の体育事業、文化祭やかるた・もちつき大会等の文化事業、子育て学級、高齢者学級、八坂塾等の学級講座事業を実施した。また、子ども育成会等の団体事業支援、八坂図書館図書貸出し、サークル活動団体支援や分館活動事業への支援や補助金交付を行った。

事業費	財源内訳	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		総事業費（決算額）	1,290,496 円	1,212,786 円	1,053,343 円
		国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	円	円	円
		一般財源	1,290,496 円	1,212,786 円	1,053,343 円

活動指標			平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業	回	5	5	5	5	100.0%	5
	②	文化事業	回	4	4	4	4	100.0%	4
③	学級講座	回	28	27	30	30	100.0%	30	

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（H30）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業参加者	人	710	840	590	800	73.8%	800
	②	文化事業参加者	人	395	345	396	370	107.0%	370
	③	学級講座参加者	人	849	858	751	850	88.4%	850
	2. 数値で表せない効果 （指標 ）公民館事業の実施により、地域住民の交流する機会が創出され、自治活動の向上や地域の活性化に寄与している。								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	改善の余地あり			
点数	3	3	3	3	2	2		18		

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

少子高齢化と人口減少により公民館事業に参加する人数を確保するのに苦慮している。また、ライフスタイルやニーズの多様化によりサークル活動に参加しない（できない）人が増えており、既存サークルの会員の高齢化等により存続できず、解散してしまう状況も見受けられる。

改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）

体育事業は、集まりの良くない事業を見直し、ニュースポーツ等を取り入れ、子どもから高齢者まで手軽に楽しめ、世代間、地域間交流が図られる内容を検討する。また、趣味や学習等のサークル活動を支援するために地区内全戸で実施したアンケート結果を基に、既存活動グループとの仲介を図ると共に、希望者の多い活動や共通性の高い活動を精査し、新規サークルの立ち上げに向けての打合せ会議や活動支援を行い、自主的に企画運営していくサークルの立ち上げを推進する。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	美麻公民館	係	事務事業No.	1104313				
事務事業名	美麻公民館活動費				会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				款	10	項	4	目	3
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供									
施策項目	社会教育の充実と活性化									
前期計画掲載頁	41	頁	個別計画	大田市第7期社会教育計画、第4次大田市生涯学習推進プラン						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等 社会教育法		

事業の目的	地域住民の活動拠点である公民館を活用して、住民のニーズに合った各種講座や体育事業及び文化事業を行うことで、地域のさらなるつながりや健康づくり等を目指す。									
事業内容	0歳から未就園児対象の親子教室及び高齢者対象の教室を開催。保育園児から高齢者まで対象にした元気アップ運動教室、地区内住民参加の運動会や球技大会及び綱引き大会等体育事業の開催。美麻小中学校生と協力した地区文化祭の開催。									
事業費	年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
	総事業費（決算額）		3,262,941 円		3,362,415 円		2,515,643 円			
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円		
		県支出金		円		円		円		
		起債		円		円		円		
		その他財源		円		円		円		
一般財源		3,262,941 円		3,362,415 円		2,515,643 円				
活動指標	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業	回	3	3	3	3	100.0%	3	
	②	文化事業	回	10	15	13	12	108.3%	10	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）		
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業	人	550	625	570	625	91.2%	550	
	②	文化事業	人	1,537	1,592	1,294	1,600	80.9%	1,200	
	③									
	2. 数値で表せない効果		(指標)							

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である			
	点数	3	3	2	3	2	3	継続	16	18

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）										
<p>少子高齢化に伴い、各種教室や講座への参加者が減少傾向にある。特に高齢者の方を対象にした教室等については、公民館だけでなく社協や民生係でも開催していることから、内容や開催日について細かい調整も必要になっているので、今後は、共同開催も検討する必要がある。体育事業についても、参加者が減少傾向にある。特に、球技大会は3種目で開催してきたが、種目の見直しが必要な状況となっている。</p>										
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）										
<p>体育事業の地区運動会は、学校との同時開催に向けて検討委員会を立ち上げた結果、次年度の同時開催が決定した。二週続いた運動会が一回となることで、地域の方の負担が減るのでより良い内容の運動会を目指す。また、新たにサークルとして活動する団体も増えたことから、参加者増に向けて協力していきながら、さらに魅力ある講座等を企画していく。</p>										

事務事業評価票

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	図書館	係	事務事業No.	110443
事務事業名	図書資料購入事業				会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				款	10 項 4 目 4
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供					
施策項目	社会教育の充実と活性化					
前期計画掲載頁	41	頁	個別計画	大田市第7期社会教育計画・第4次大田市生涯学習推進プラン		
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の目的
市民が必要とする資料を選定及び購入することにより、図書館の役割を強化し、利用者の増加や図書館活動の質的向上を図ることを目的とする。

事業内容
市民のニーズに適合した資料の選定及び購入
市民のリクエスト本の購入
図書館ならではの専門的な知識を得るための資料の購入
図書資料の収集、整理
資料の修理

事業費	財源内訳	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		総事業費（決算額）	8,153,524 円	8,218,617 円	円
		国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	円	円	円
	一般財源	8,153,524 円	8,218,617 円	0 円	

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	図書購入	冊	3,768	4,882	4,290	4,000	107.3%	4,000
	②								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用者数	人	37,257	35,251	35,631	38,000	93.8%	38,000
	②	貸出冊数	冊	144,495	143,200	144,946	150,000	96.6%	150,000
	③								
	2. 数値で表せない効果 (指標)								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	普通	一部重複	普通	改善の余地あり			
	点数	3	3	2	2	2	2	やり方改善	14	18

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

少子化や活字離れに伴い、中学生・高校生の貸し出し冊数が大幅に減少している。若者の言語能力の低下、勉学意欲の減退など、知的水準が落ちてきていると危惧されているが、0歳～6歳、13歳～15歳、19歳～22歳、30歳～39歳、50歳、60歳代以外の年代は全て減少傾向にある。子どもだけでなく大人にも「読書離れ」の傾向が認められる。また、立地の問題もあるが、昨今、図書館は複合施設として多様な役割を求められているが、当館のように単館として機能しているため、大幅な利用者増は望めない状況にある。

改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）

図書館は社会教育機関の役割と地域の情報拠点の役割との2つの役割がある。その機能を一層充実させるためには、地域との接点を創り出していくこと、そのために、学校を含めた他の公共施設との連携を促進するとともに、資料を計画的かつ系統的に収集し、市民のニーズに応え、より魅力的な蔵書構築を図るため、選書基準に基づき計画的な図書購入に努める。またヤングアダルトと言われる中高生向けの図書を積極的に収集し、その世代の興味、関心を引き出し、知的好奇心を引き出す資料収集に努める。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	文化会館	係	事務事業No.	110453
事務事業名	文化会館公演事業				会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				款	10 項 4 目 5
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実					
施策項目	芸術文化の振興					
前期計画掲載頁	45	頁	個別計画	大田市第7期社会教育計画、第4次大田市生涯学習推進プラン		35 頁
事業期間	平成 19 年	～	平成 30 年	根拠法令・要綱等		

事業の目的
舞台芸術に触れる機会の少ない市民が、気軽に楽しく芸術文化に触れあうことができるよう文化会館を中心とした継続的な芸術文化活動を促進すると共に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する。

事業内容
ミュージカル、落語、クラシックコンサート、ポップスコンサート等の公演の開催。市民文化芸術活動の発表の場の提供

事業費	財源内訳	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		総事業費（決算額）	37,510,417 円	19,403,887 円	26,499,905 円
		国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	18,929,140 円	5,682,592 円	8,380,356 円
一般財源	18,581,277 円	13,721,295 円	18,119,549 円		

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	文化会館自主事業	回	11	12	12	10	120.0%	10
	②								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	文化会館自主事業入場者数	人	7,791	5,933	8,028	6,000	133.8%	6,000
	②	文化会館利用回数	回	139	117	89	110	80.9%	100
	③	文化会館入場者数	人	29,708	28,224	28,687	30,000	95.6%	30,000
	2. 数値で表せない効果 (指標)								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である			
点数	3	3	2	3	3	3	継続	17 / 18		

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

市民の文化活動の発表の場であると共に、日頃接することの少ない芸術性の高い舞台芸術や娯楽の場としての位置づけがある。市民の芸術文化活動は、人口減少や高齢化により停滞気味であり芸術文化協会の活動を支援しながら活性化を図ることが必要。優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する場としては、今後も優れた作品を比較的安価に提供できるよう心掛ける。

改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）

優れた舞台芸術鑑賞機会の場を増やすために、通常の自主文化事業に加えて公演料を負担せず実施できる共催事業を多く実施していく。
広く芸術文化を担う人材育成のため市芸術文化協会の組織強化を図る。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	文化財 係	事務事業No.	110462				
事務事業名	遺跡発掘調査事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10	項	4	目	6
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実								
施策項目	文化財の保護継承と活用								
前期計画掲載頁	46	頁	個別計画	大田市第7期社会教育計画、第4次大田市生涯学習推進プラン				36	頁
事業期間	昭和	54	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	文化財保護法

事業の目的	埋蔵文化財の保護と記録保存、活用を図る。								
事業内容	学術発掘調査、緊急発掘調査（記録保存）、発掘調査現地見学会、遺跡試掘調査の実施。								
事業費	財源内訳	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
		総事業費（決算額）	3,890,012 円	297,027 円	148,354 円				
		国庫支出金	円	円	円				
		県支出金	円	円	円				
		起債	円	円	円				
		その他財源	2,600,000 円	円	円				
一般財源	1,290,012 円	297,027 円	148,354 円						
活動指標	指標名		単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値
	①	発掘調査件数	件	1	2	1	1	100.0%	1
	②	試掘調査件数	件	4	6	4	4	100.0%	4
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標			平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	発掘調査面積	m ²	165	183	119	50	238.0%	50
	②	埋蔵文化財の有無の問い合わせ件数	件	57	63	82	60	136.7%	70
	③	調査遺跡内容							
	2. 数値で表せない効果 （指標③） 遺跡によって時代、範囲等に違いがあるため、調査遺跡の内容の成果は違ってくる。								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である			
	点数	3	2	2	3	2	3	継続	15	18

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）										
発掘調査は、学術調査、記録保存のための緊急発掘調査、開発対象地の試掘調査に分けられ、年度ごとに各開発案件、事業のばらつきが生じるため、実施件数の変動がある。										
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）										

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	文化財 係	事務事業No.	110465
事務事業名	中村家住宅管理事業			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実				
施策項目	文化財の保護継承と活用				
前期計画掲載頁	46 頁	個別計画	大町市第7期社会教育計画、第4次大町市生涯学習推進プラン		36 頁
事業期間	平成 18 年 ~	平成 年	根拠法令・要綱等 文化財保護法、重要文化財旧中村家住宅管理条例		

事業の目的	重要文化財建造物の適切な維持管理を行うことにより、地域の伝統的な文化財の保護を推進するとともに、文化財の公開を通して、地域の歴史と民俗文化を学び、体験する場とする。								
事業内容	毎年4月から11月までの8か月間、重要文化財旧中村家住宅を一般公開するとともに、必要な維持管理を行っている。								
事業費	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	総事業費（決算額）		1,798,783 円	2,127,141 円	2,482,786 円				
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円				
		県支出金	円	円	円				
		起債	円	円	円				
		その他財源	207,150 円	220,150 円	217,250 円				
一般財源		1,591,633 円	1,906,991 円	2,265,536 円					
活動指標	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	公開日数	日	180	180	180	180	100.0%	180
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	入館者数	名	748	804	809	900	89.9%	800
	②								
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である			
	点数	3	2	2	3	2	3			

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
平成18年度の市村合併以来重要文化財の公開事業を受け継いでいる。入館者数は年700~800名で推移している。	
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
市街地から離れた、江戸時代の山村の民家であり、他の建築物と違って特段の話題性を持つものではないため、なかなか入館者の増加は見込めないが、公開だけでなく、別の活用についても検討し、地域の貴重な文化財として適切に管理、活用したい。	